

平成21年 8月4日(火)～9月27日(日)
大倉集古館

松村景文「四季草花図」



松村景文「四季草花図」右隻(部分)



上/「染付三方唐花文皿」
左/狩野探幽「花籠に牡丹図」
下/横山大観「文鳥」



「能装束 鬱金地垣夕顔模様縫箔」



花華

館蔵品展

—日本・東洋美術に咲いた花—

左から/前島宗祐「鶏頭小禽図」/横山大観「茶花」「野菊」

開館時間：10:00～16:30
(入館は16:00まで)
ただし 8/7、14、21、28 は
19:00まで開館、入館は18:30まで
休館日：月曜日
ただし 8/10、17、24 は開館
主催：大倉集古館
協力：(株)ホテルオークラ東京・大成建設(株)

財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
TEL03-3583-0781
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)
<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/shukokan/>

アメリカ大使館

大倉集古館

ホテルオークラ東京本館

ホテルオークラ東京別館

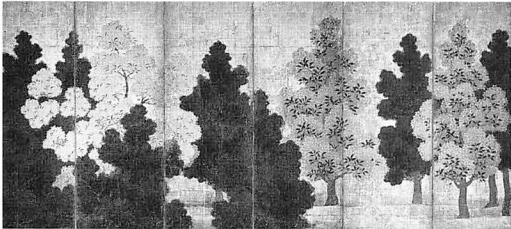
東京メトロ

南北線 六本木一丁目駅より5分
日比谷線 神谷町駅より7分
銀座線・南北線 溜池山王駅より8分
銀座線 虎ノ門駅より10分

花を取り巻く華やいだイメージは、時代や地域を問わず、人々を魅了してきました。日本では、季節ごとに移ろう花々に心を寄せ、情緒とともにその姿を表現することが好まれますが、中国では古来、花は吉祥モチーフとして、季節に関係なく美術や工芸にあらわされてきました。美術の中では、花そのものを主題にした作品のほかに、物語や詩歌の世界、あるいは名所の背景として、あるいは仏教などの信仰上の意味を示す図像としても描かれています。また、図案化された花模様は、陶磁器や漆器、染織品などの装飾にも幅広く用いられました。本展では大倉集古館の所蔵品の中から、日本・東洋美術にみられる花モチーフの諸相を、梅・桜・牡丹・蘭・菊など、花ごとのテーマで紹介いたします。



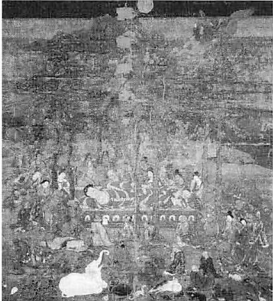
重要文化財「一字金輪像」



伝藤原光信「桜に杉図」右隻



「菊桐蒔絵二重箱」



重要美術品「仏涅槃図」

主な展示作品

- 重要文化財「一字金輪像」鎌倉時代・13世紀
- 重要美術品「仏涅槃図」鎌倉時代・14世紀
- 玉畹梵芳「蘭図」室町時代・15世紀
- 重要美術品 前島宗祐「鶏頭小禽図」室町時代・16世紀
- 伝藤原光信「桜に杉図」桃山時代・16世紀
- 狩野探幽「花籠に牡丹図」江戸時代・17世紀
- 狩野常信「梅に鶯図」江戸時代・17世紀
- 住吉如慶「秋草図」江戸時代・17世紀
- 本阿弥光悦「詩書巻」江戸時代・17世紀
- 木村兼葭堂「本草画譜」江戸時代・18世紀(特種製紙株式会社蔵)
- 松村景文「四季草花図」江戸時代・19世紀
- 重要美術品 酒井抱一「重陽宴(五節句図のうち)」江戸時代・文政10(1827)年
- 重要美術品 椿椿山「蘭竹図」江戸時代・嘉永5(1852)年
- 横山大観「寒牡丹」「文鳥」「野菊」「羅漢松」「茶花」昭和4(1929)年
- 伝王冕「墨梅図」中国・明時代・15世紀
- 「名人便名集珍」中国・清時代・17～18世紀
- 愛新覚羅溥儀「牡丹図」中国・民国時代・1922年
- 「菊桐蒔絵二重箱」桃山時代・16世紀
- 「染付三方唐花文皿」江戸時代・17～18世紀
- 「能装束 鬱金地垣夕顔模様縫箔」江戸時代・18世紀
- 「花文堆朱輪花盆」中国・明時代・16世紀

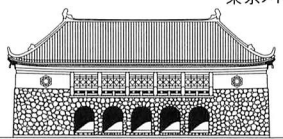
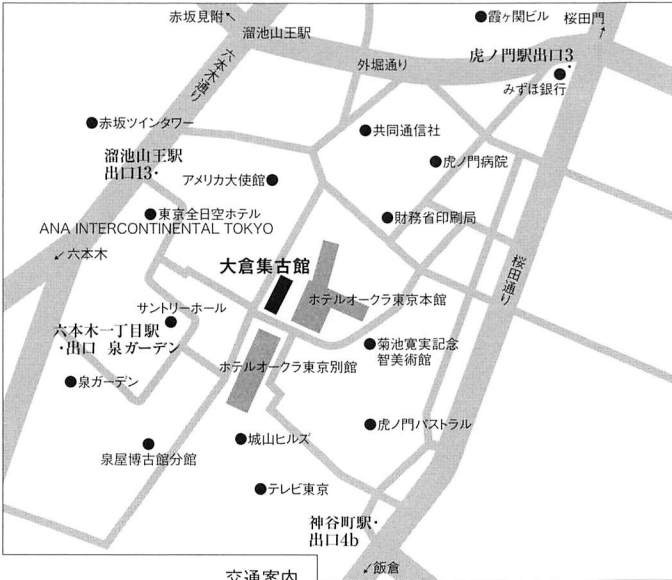
主催：大倉集古館
協力：(株)ホテルオークラ東京、大成建設(株)
休館日：月曜日(8/10、17、24は開館)
開館時間：10:00～16:30(入館は16:00まで)
ただし 8/7、14、21、28は 19:00まで開館、入館は18:30まで。
料金：一般 800円
大学・高校生・65歳以上 500円
中学生以下 無料
土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師無料
20名様以上の団体は 100円引

併催展覧会のお知らせ
「第15回 秘蔵の名品 アートコレクション展
日蘭通商400周年記念 栄光のオランダ絵画展」
会期：平成21年8月4日(火)～30日(日)
会場：ホテルオークラ東京 別館地下2階「アスコットホール」
電話：03-3505-6110(ホテルオークラ東京 プロモーション統括課)
※期間中は大倉集古館の企画展示との共通券も販売しております。

併催イベントのお知らせ
「大倉集古館 ピアノの夕べ」
ピアノ 菊地裕介
日時：9月5日(土) 17:30開場 18:00開演
場所：大倉集古館 1階展示室
料金：2000円(「花・華」展の入場料を含みます)
数々の国際コンクールで優勝、入賞し、最も活躍が目される実力派ピアニスト・菊地裕介さんのリサイタルです。
予約が必要です。詳細はお問い合わせ下さい。

ギャラリートークのお知らせ
8月15日(土)・9月12日(土)の午後2時より、学芸員によるギャラリートークを行います。
申し込みは不要です。展覧会入場券が必要です。

次回展覧会のお知らせ
「特別展 根来—赤と黒に標された悠久の時の調べ」
日時：10月3日(土)～12月13日(日)
現在根来と呼ばれる類の器物は既に平安絵巻に登場しますが、「根来塗」という呼称の語源は通説では鎌倉期に漆器を作った根来寺だと言われています。使用のために生まれた無駄の無い美しいフォルム。その優れた造形感覚は現代的で、世界に通用するトップデザインです。更には使うことで、比較的耐久性が弱い上塗の朱漆が剥げて中塗の黒漆が無作為に顔を出します。赤と黒の織りなす旋律は斬新ですらありながら、年月に耐え毅然とした風趣をもつ器物の手摺れには、余分なものを捨てた「さび」の美が在ります。そして、そこにある刷毛目と経年で現れた木目の巧まざる文様。木と漆が作り出すねっとりとした温もりのある質感。「ねごろ」「根来もの」などと親まれ、今も世界中の愛好者を魅了して止まない「根来」の世界をご堪能下さい。



財団法人 大倉文化財団
大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3 (ホテルオークラ本館正面玄関前)
TEL03-3583-0781
ホームページ <http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/shukokan/>